

## 精神看護学

### 【科目構成とねらい】

わが国では、少子高齢化、情報化、グローバル化の進展等を背景に、精神保健の充実が求められている。現代社会は、高度な情報化や価値の多様化により、人々の生活に便利さをもたらすと同時に、精神的ストレスに満ちた状況にある。精神障害は、誰にでも生じる可能性のある身近な障害で(厚生労働省.2004)、生きにくさを抱えながら生活している人々が増えている。

施策としては、大地震や豪雨等の自然災害や、人偽的災害を受けた人々に対して、こころのケアを提供する体制も推進されている(厚生労働省.2014)。また、自殺対策基本法(2016年)に基づき、様々な自殺対策に取り組みが行われている。多様なニーズを抱える社会において、誰もが安心して暮らせる社会を作るために、精神障害への理解と精神保健の充実を図るための取り組みが行われており、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築を目指すことが示されている(厚生労働省.2017)。

精神看護学では、精神に障害があり生きている人の理解を深め、その人らしく生きるための支援と、現代の人々が抱える精神的課題に対する支援や普及啓発を行うために必要な知識と技術を学習する。

### 「精神看護学概論」

精神看護の目的と対象を理解するため、精神の健康とその障害について学習する。

また、精神保健福祉の歴史を概観し、精神に障害がある人の権利擁護及び精神保健福祉の現状と課題、法律について学習する。

### 「精神に障害がある人を支える看護の基本」

精神に障害のある人が疾患の影響を受け、医療や保護が必要な状況に対して安全と安楽を提供する。さらに、人間的な安全保障感としての安心を提供する看護や、人権を守るために必要な看護について学習する。

また、精神に障害のある人との関係構築に必要な治療的コミュニケーション技術や再構成による自己洞察についても学習する。

### 「精神の障害とともに生きるを支える看護」

様々な精神疾患により生じる影響を踏まえて、障害とともにその人らしく生きることを支えるために必要な看護について学習する。精神の障害とともに生きる人の感じる生きにくさを理解し、他者や社会とのつながりを回復し、自分らしい生活様式や生活行動を送るために必要な看護について学習する。

### 「精神の障害とともに地域で暮らすを支える看護」

精神に障害のある人が、その人らしく地域で生活を送るために必要な社会資源やサービス、精神に障害のある人を支える医療チーム(多職種)との連携について学習する。その人らしく暮らすことに重要な自己決定支援についても学習する。障害がありながら地域で生活する人や支援の実際について、演習を通して理解を深める。

## 【目的】

精神の健康の保持・増進、精神に障害がありながらその人らしく生きるための支援に必要な基礎的能力を養う。

## 【目標】

1. 精神の機能と発達、精神的健康の保持増進の支援に必要な基礎知識を理解する。
2. 精神の障害が、その人らしく生きることに与える影響と回復過程を理解する。
3. 精神に障害があり医療や保護を受け生きている場における看護技術を理解する。
4. 精神の障害とともにその人らしく生きるために、暮らしを支える資源とケアマネジメントを理解する。
5. 精神の障害とともにその人らしく生きるための自己決定を支え、多職種との連携が考えられる。
6. 精神保健医療福祉の変遷と今後の課題を学び、地域包括ケアシステムにおける看護師の役割が考えられる。

## 【構成および計画】

< 講義 >

| 科目                    | 単位数 | 履修時期 |     |     |
|-----------------------|-----|------|-----|-----|
|                       |     | 1年次  | 2年次 | 3年次 |
| 精神看護学概論               | 1   | ○    |     |     |
| 精神に障害がある人を支える看護の基本    | 1   |      | ○   |     |
| 精神の障害とともに生きるを支える看護    | 1   |      | ○   |     |
| 精神の障害とともに地域で暮らすを支える看護 | 1   |      | ○   |     |

## 授業計画

| 科目名      | 精神看護学概論   |  | 単位数<br>(時間)   | 1 単位<br>(30)       | 履修<br>時期 | 1 年次 |  |
|----------|---|--|---|--------------------|----------|------|--|
| 科目<br>目標 | 1. その人らしく生きるための精神看護の目的と意義、精神的健康の概念を理解する。<br>2. ライフサイクルや社会の動向における精神保健と危機状況を理解する。<br>3. 精神保健福祉の変遷を踏まえ、精神に障害のある人がその人らしく生きるための社会<br>復帰や地域に必要な社会制度を理解する。 |  |   |                    |          |      |  |
| 回        | 単 元   | 内 容  | 形式  | 担当教員<br>*実務経験のある教員 |          |      |  |
| 第 1 回    | 精神看護の目的<br>・対象、役割と<br>機能  | 精神看護の目的 精神看護と精神科看護の対象<br>現代社会における精神保健(災害や自殺など)<br>日本の精神医療の現状と課題        | 講義  | 専任教員*              |          |      |  |
| 第 2 回    |   | 精神の健康 精神の健康の定義(WHO)<br>問題志向型とストレングス、脳の構造と精神<br>の機能、精神障害と国際生活機能分類 (ICF) | 講義  | 専任教員*              |          |      |  |
| 第 3 回    |   | 精神看護の理論<br>自我と防衛機制、漸成的発達理論、生きる力<br>(EQ)                                | 講義  | 専任教員*              |          |      |  |
| 第 4 回    | ライフサイクルに<br>おける危機管理   | 発達段階における危機状況、成長発達や発達障害<br>胎児期、乳幼児期、学童期、思春期、青年期<br>成人期、中年期、老年期の危機状況     | 講義  | 専任教員*              |          |      |  |
| 第 5 回    |   | 暮らしの場での危機状況<br>家庭、学校、職場、社会生活<br>危機理論と予防概念                              | 演習  | 専任教員*              |          |      |  |
| 第 6 回    |   | 在宅医療・通院医療とリハビリ<br>災害によるストレス、適応障害など<br>自殺予防とゲートキーパー                     | 講義  | 専任教員*              |          |      |  |
| 第 7 回    |   | 災害による影響とレジリエンス<br>強いストレスの影響、急性ストレス障害、PTSD<br>被災者と災害救援者の精神保健            | 講義  | 専任教員*              |          |      |  |
| 第 8 回    |   | リエゾン精神看護   | 身体疾患のある人の精神の健康<br>リエゾン精神看護とその活動                             | 講義                 | 専任教員*    |      |  |
| 第 9 回    |   | 精神保健福祉の<br>変遷と活動   | 精神保健医療福祉の歴史<br>世界の動きと日本の歴史<br>日本の現状と課題                      | 講義                 | 専任教員*    |      |  |
| 第 10 回   |   |  | 精神保健及び精神障害者福祉に関する法制度<br>精神障害者の権利を保障する法律、意義<br>精神科看護に関連する法制度 | 講義                 | 専任教員*    |      |  |
| 第 11 回   | 精神科の治療(処遇)と人権擁護<br>薬物療法、精神療法<br>環境療法、社会療法(作業療法など)   |  | 講義  | 専任教員*              |          |      |  |
| 第 12 回   | チーム医療における多職種連携<br>精神保健福祉施設の実際の見学  |  | 見学<br>講義  | 専任教員*              |          |      |  |
| 第 13 回   | 精神保健福祉における看護師の役割と課題<br>多職種連携、地域継続支援、外来看護<br>地域精神保健福祉活動の現状と課題<br>地域移行支援と社会資源の学習 課題の発表  |  | 講義<br>演習  | 専任教員*              |          |      |  |
| 第 14 回   | 地域包括ケアシステムを支える看護師の課題<br>長期入院者の地域移行における現状と課題   |  | 講義  | 専任教員*              |          |      |  |
| 第 15 回   | 評価  |  |   |                    |          |      |  |
| 評価方法     |   | 筆記   |   |                    |          |      |  |

## 授業計画

| 科目名      | 精神に障害がある人を支える看護の基本  |  | 単位数<br>(時間)                             | 1 単位<br>(30)                      | 履修<br>時期 | 2 年次 |
|----------|---|--|---|-----------------------------------|----------|------|
| 科目<br>目標 | 1. 精神に障害がある人との関係の構築・発展のための技術を理解する。<br>2. 精神に障害があり医療や保護を受ける場を理解する。<br>3. 精神に障害があり医療や保護を受ける場での必要な看護を理解する。 |  |   |                                   |          |      |
| 回        | 単 元   | 内 容  | 形式                                      | 担当教員<br><small>*実務経験のある教員</small> |          |      |
| 第 1 回    | 精神障害と生活   | 精神障害の生活への影響<br>生活機能・対人関係、社会参加への影響  | 講義                                      | 専任教員*                             |          |      |
| 第 2 回    | 患者－看護師関係の構築   | 対象理解と関係を構築するコミュニケーション技術（カウンセリング技法）<br>対象を理解するコミュニケーション技術<br>治療的コミュニケーション技術 | 講義                                      | 専任教員*                             |          |      |
| 第 3 回    |   | 回復につながる意図的・治療的コミュニケーションの実際   | 校内演習                                    | 専任教員*                             |          |      |
| 第 4 回    |   | 精神に障害がある人との関係性のアセスメント<br>再構成の目的、意義、方法<br>患者－看護師関係のアセスメント                   | 講義                                      | 専任教員*                             |          |      |
| 第 5 回    |   | 再構成カンファレンス<br>ニーズの見極め、自己洞察<br>グループワーク                                      | 講義演習                                    | 専任教員*                             |          |      |
| 第 6 回    |   | 精神科医療に必要な看護  | 精神科医療の治療的環境 入院時の看護<br>医療や保護を受ける場と看護師の役割 | 講義                                | 専任教員*    |      |
| 第 7 回    | 精神に障害がある人への検査・治療と看護<br>薬物療法、電気けいれん療法  |  | 講義                                      | 専任教員*                             |          |      |
| 第 8 回    | 精神療法、精神科リハビリテーション療法<br>心理教育、SST   |  | 講義                                      | 専任教員*                             |          |      |
| 第 9 回    | 安全を守る看護<br>行動制限と人権  | 精神科リスクマネジメント<br>日常生活での行動の制限と看護<br>危険物・私物管理、外出・外泊、通信面会時                     | 講義                                      | 外部講師*                             |          |      |
| 第 10 回   |   | 隔離・身体拘束時の看護 隔離室の治療的環境<br>と合併症<br>Case learning 1 隔離拘束の看護                   | 講義                                      | 外部講師*                             |          |      |
| 第 11 回   |   | 観察とアセスメントの実際<br>セルフケアモデル、ゴードンの枠組み<br>マッピングシート等                             | 講義                                      | 専任教員*                             |          |      |
| 第 12 回   | 精神に障害がある人の理解  | 地域で暮らす精神に障害がある人の理解<br>当事者の体験談から人間や環境・看護を考える<br>質疑応答を通して、看護のあり方を考える         | 当事者参加型<br>講義                            | 外部講師<br>(当事者他)                    |          |      |
| 第 13 回   | 緊急事態に対する看護  | 自殺・暴力のリスクマネジメント<br>自殺、暴力の発動プロセスとアセスメント<br>自殺・暴力防止への関わり                     | 講義                                      | 外部講師*                             |          |      |
| 第 14 回   |   | 無断離院の危険と法的責任<br>精神に障害がある人への災害時心理と支援<br>緊急事態発生後のスタッフへのサポート                  | 講義                                      | 外部講師*                             |          |      |
| 第 15 回   | 評価  |  |   |                                   |          |      |
| 評価方法     |   | 筆記   |   |                                   |          |      |

## 授業計画

| 科目名      | 精神の障害とともに生きるを支える看護   |  | 単位数<br>(時間)  | 1 単位<br>(30)                      | 履修<br>時期 | 2 年次 |
|----------|--|--|--|-----------------------------------|----------|------|
| 科目<br>目標 | 1. 精神の障害とともにその人らしく生きるための看護の基本を理解する。<br>2. 精神の障害による影響を踏まえその人らしさを支える看護の実際を考える。 |  |  |                                   |          |      |
| 回        | 単 元  | 内 容  | 形式   | 担当教員<br><small>*実務経験のある教員</small> |          |      |
| 第 1 回    | 精神の障害とともに生きる人の<br>アセスメント   | 統合失調症のある人の看護<br>精神機能の観察と関わり方 精神障害が社会<br>生活に与える影響 アセスメントの視点                     | 講義   | 専任教員*                             |          |      |
| 第 2 回    | 障害とともに生<br>きる人への看護   | Case learning 1 統合失調症 ①<br>生活の障害、対人関係他 情報整理                                    | 講義<br>演習   | 専任教員*                             |          |      |
| 第 3 回    |  | 気分障害のある人への看護<br>うつ状態やそう状態のある人のへの支援   | 講義   | 専任教員*                             |          |      |
| 第 4 回    |  | 精神に障害がある人の服薬と治療<br>生活課題と再発予防   | 講義   | 専任教員*                             |          |      |
| 第 5 回    |  | Case learning 1 統合失調症 ②<br>成育歴、現病歴(ライフストーリー)を踏ま<br>えたアセスメントと看護問題、看護診断          | 講義<br>演習   | 専任教員*                             |          |      |
| 第 6 回    |  | Case learning 1 介入計画 ③<br>夢や希望と現実的目標と計画<br>学びの発表                               | 講義<br>演習   | 専任教員*                             |          |      |
| 第 7 回    |  | 精神作用物質使用による精神・行動の障害のある<br>人への看護<br>アルコール依存、薬物・物質依存への支援                         | 講義   | 専任教員*                             |          |      |
| 第 8 回    |  | パーソナリティ障害、神経症性障害のある人へ<br>の看護<br>不安、操作試し行為・逸脱的逸脱への支援                            | 講義   | 専任教員*                             |          |      |
| 第 9 回    |  | Case learning 2 摂食障害、てんかんのある人へ<br>の看護<br>生育環境や身体症状の訴え、発作誘発予防                   | 講義<br>演習   | 専任教員*                             |          |      |
| 第 10 回   |  | Case learning 3 自閉症スペクトラム、発達障害<br>のある人への看護<br>対人関係、コミュニケーションの障害、社会性<br>の障害への支援 | 講義<br>演習   | 外部講師*<br>(小児精神看護)                 |          |      |
| 第 11 回   |  | 精神科に入院する認知症の人への看護<br>行動・心理症状(BPSD)による易怒性や疎通の<br>不良への支援                         | 講義   | 専任教員*                             |          |      |
| 第 12 回   |  | リエゾン看護 身体疾患に由来する精神症状<br>慢性疾患・終末期にある精神に障害のある人<br>への看護 身体合併症管理への支援               | 講義   | 専任教員*                             |          |      |
| 第 13 回   |  | 精神に障害のある<br>人と家族への<br>看護   | 当事者と家族への看護<br>再発予防と家族の感情表出 家族の苦悩<br>親亡き後の子どもの将来への不安と支援 | 講義                                | 専任教員*    |      |
| 第 14 回   | その人らしさを<br>支える看護   | Case learning 4 リカバリーを目指した支援<br>ライフストーリーを踏まえた看護<br>退院後の地域生活を支えるために必要な支援        | 講義<br>演習   | 専任教員*                             |          |      |
| 第 15 回   | 評価   |  |  |                                   |          |      |
| 評価方法     |  | 筆記・レポート  |  |                                   |          |      |

## 授業計画

| 科目名      | 精神の障害とともに地域で暮らすを支える看護  |  | 単位数<br>(時間)   | 1 単位<br>(15)                      | 履修<br>時期 | 2 年次 |  |
|----------|--|--|---|-----------------------------------|----------|------|--|
| 科目<br>目標 | 1. 精神の障害とともにその人らしく生きるために、暮らしを支える資源とケアマネジメントを理解する。<br>2. 精神の障害とともにその人らしく生きるための自己決定を支える支援、多職種との連携を理解する。<br>3. 地域包括ケアシステムにおける看護師の役割を理解する。 |  |   |                                   |          |      |  |
| 回        | 単 元  | 内 容  | 形式  | 担当教員<br><small>*実務経験のある教員</small> |          |      |  |
| 第 1 回    | 地域で暮らすための社会資源と地域包括ケアシステム   | 精神に障害がある人の特性とその人らしい暮らしを支援する地域包括ケアシステム<br>精神に障害がある人の特性<br>独特の感受性の高さによる生きにくさ<br>地域包括ケアシステムの概要と考え方、社会資源の活用を支える支援体制                | 講義  | 専任教員*                             |          |      |  |
| 第 2 回    |  | 地域で暮らすための支援<br>病院から地域への生活移行のための家族等への連絡調整と生活のための費用、住居の確保<br>社会参加と精神症状に適切に早期介入するためのシステム  | 講義  | 専任教員*                             |          |      |  |
| 第 3 回    |  | 対象と家族の個別性と強みを活かす支援<br>対象の持つストレングス(強み)に着目した支援方法 ICF モデルの考え方<br>対象と家族を支援するピアグループの活用  | 講義  | 専任教員*                             |          |      |  |
| 第 4 回    |  | 地域の暮らしと社会資源の活用<br>生活支援、就労支援<br>障害者施設と地域住民ボランティア<br>地域住民との交流、看護学生との交流<br>多職種・多組織チーム (MDT)<br>対象を中心にした地域における他職種連携<br>医療における多職種連携 | 講義  | 外部講師*<br>(精神保健<br>福祉士)            |          |      |  |
| 第 5 回    |  | 地域で暮らすためのサポート体制と自己決定支援   | 対象のサポート体制<br>パートナーであるコミュニティと多職種連携<br>自己決定 (エンパワーメント) 支援 | 講義                                | 専任教員*    |      |  |
| 第 6 回    |  | 地域で暮らすための支援の実際   | Case learning 1 緊急入院から社会復帰に向けた支援                        | 講義<br>演習                          | 専任教員*    |      |  |
| 第 7 回    |  |  | Case learning 2 入退院を繰り返し、地域で生活する人への支援                   | 講義<br>演習                          | 専任教員*    |      |  |
| 第 8 回    |  | 評価   |   |                                   |          |      |  |
| 評価方法     |  | 筆記   |   |                                   |          |      |  |